

---

# JP1 Version 13 システム構成例

## セキュリティ管理・情報漏えい防止

## ●情報漏えい防止

### SEC - 01 デバイスやネットワークからの情報の持ち出しを制御する構成

JP1/秘文 Server 基本ライセンス  
JP1/秘文 Device Control

### SEC - 02 情報漏えい防止製品の操作ログを一元管理する構成

JP1/秘文 Server 基本ライセンス  
JP1/秘文 Device Control  
JP1/秘文 Device Control Webアクセス・コピーログオプション

### SEC - 03 ファイルデータを暗号化する構成

JP1/秘文 Server 基本ライセンス  
JP1/秘文 Server ファイルサーバライセンス  
JP1/秘文 Data Encryption

#### ■本資料中での表記について

- システム構成図の製品名称は略称で表記しています。
- 製品名称の[ ]内は製品のコンポーネントまたはサブコンポーネントです。
- システム構成図に記載している対応OSは一例です。  
各製品が対応しているOSの詳細は、JP1 Webサイトの「動作環境／対応状況」を確認してください。

スマートデバイスやUSBメモリーなどのデバイス、無線LANや有線LANなどのネットワークの利用を適切なポリシーによって許可または禁止し、漏えいしてはいけない情報の持ち出しを制御するための構成です。マルウェア検出製品と連携し、感染が検知された端末のネットワーク通信を遮断することもできます。

## ●見積もり条件

- セキュリティ管理サーバ

台数：2

OS：Windows

- セキュリティ管理対象クライアント

台数：500

OS：Windows

補足：JP1/秘文 Server (基本)に障害が起こった場合、持ち出しの認証ができなくなるため、プライマリとセカンダリの2台のセキュリティ管理サーバを構築する冗長化構成を推奨します。

## ●概算価格(税抜)：

24時間週7日対応 サポートサービスの場合

<買い取りタイプ>

プログラム・ライセンス：5,602,000円、サポートサービス(年額)：1,176,000円

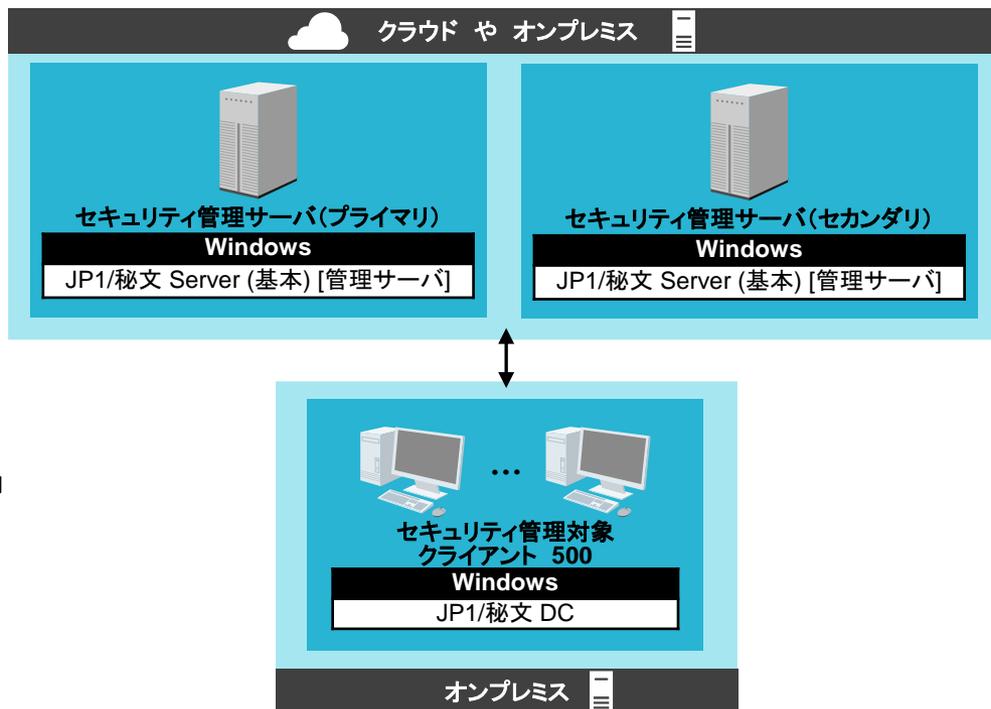
<サブスクリプションタイプ>

プログラム：1,000円、ライセンス・サポートサービス(年額)：3,540,000円

### 参考：クライアントだけの構成も可能

セキュリティ管理サーバのないスタンドアロン構成でも、デバイスやネットワークからの情報の持ち出しを制御できます。スタンドアロン構成の場合、持ち出し制御の設定を変更するためには、インストール媒体を再作成して、セキュリティ管理対象クライアントに上書きインストールする必要があります。

## ●システム構成図



各拠点に存在する情報漏えい防止製品 (JP1/秘文) の操作ログを一元管理し、ログを検索・集計したり、バックアップしたログを閲覧したりするための構成です。

## ●見積もり条件

- セキュリティ管理サーバ  
台数：2  
OS：Windows
- ログマネージャ  
台数：1  
OS：Windows
- セキュリティ管理対象クライアント  
台数：500  
OS：Windows
- VDI環境で利用するセキュリティ管理対象ユーザー  
ユーザー数：10  
OS：Windows

補足:

- VDI環境で使用する仮想マシンのイメージを複数のユーザーが共有している環境の場合、仮想マシンを利用するユーザー数分のライセンスが必要です。同時にログインするユーザー数ではありません。
- JP1/秘文 Server (基本)に障害が起こった場合、持ち出しの認証ができなくなるため、プライマリとセカンダリの2台のセキュリティ管理サーバを構築する冗長化構成を推奨します。
- 右記の構成のログマネージャの前提プログラムの詳細は、ソフトウェア添付資料を参照してください。

## ●概算価格(税抜):

24時間週7日対応 サポートサービスの場合

<買い取りタイプ>

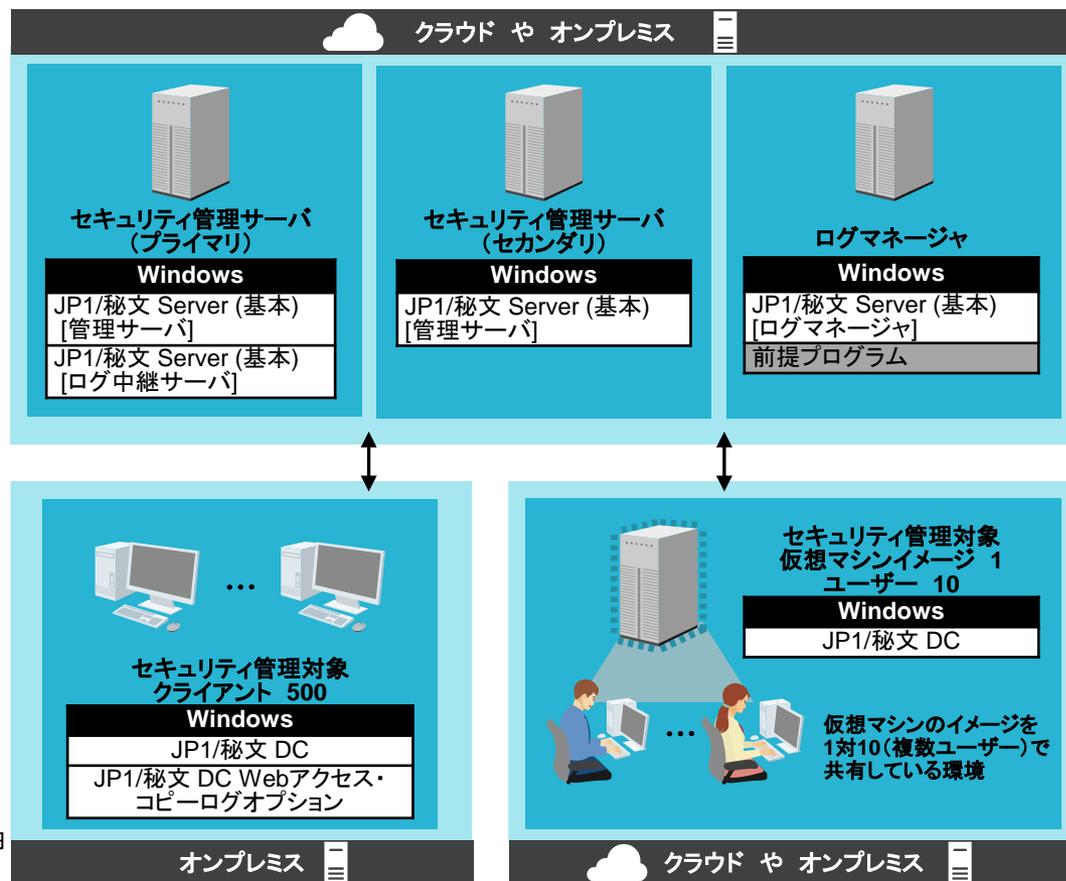
プログラム・ライセンス: 7,080,000円、サポートサービス(年額): 1,486,560円

<サブスクリプションタイプ>

プログラム: 1,000円、ライセンス・サポートサービス(年額): 4,750,800円

注: システム構成図のグレーの網掛けは、概算価格には含まれません。

## ●システム構成図



PCの内蔵ドライブ、リムーバブルメディア、CD/DVD/BDやファイルサーバ上のファイルデータを暗号化し、第三者に情報の中身を見せないようにするための構成です。

## ●見積もり条件

- セキュリティ管理サーバ  
台数：2  
OS：Windows
- 共有フォルダ暗号化サーバ  
台数：1  
OS：Windows
- セキュリティ管理対象クライアント  
台数：500  
OS：Windows
- VDI環境で利用するセキュリティ管理対象仮想マシンのイメージ数：2  
OS：Windows

補足:

- VDI環境で使用する仮想マシンのイメージがユーザーごとに1対1で割り当てられている環境の場合、仮想マシンのイメージ数分のライセンスが必要です。
- 共有フォルダ暗号化サーバへアクセスする場合、JP1/秘文 Server (基本)との接続認証が必要となります。JP1/秘文 Server (基本)に障害が起こった場合、認証ができなくなるため、プライマリとセカンダリの2台のセキュリティ管理サーバを構築する冗長化構成を推奨します。

## ●概算価格(税抜):

24時間週7日対応 サポートサービスの場合

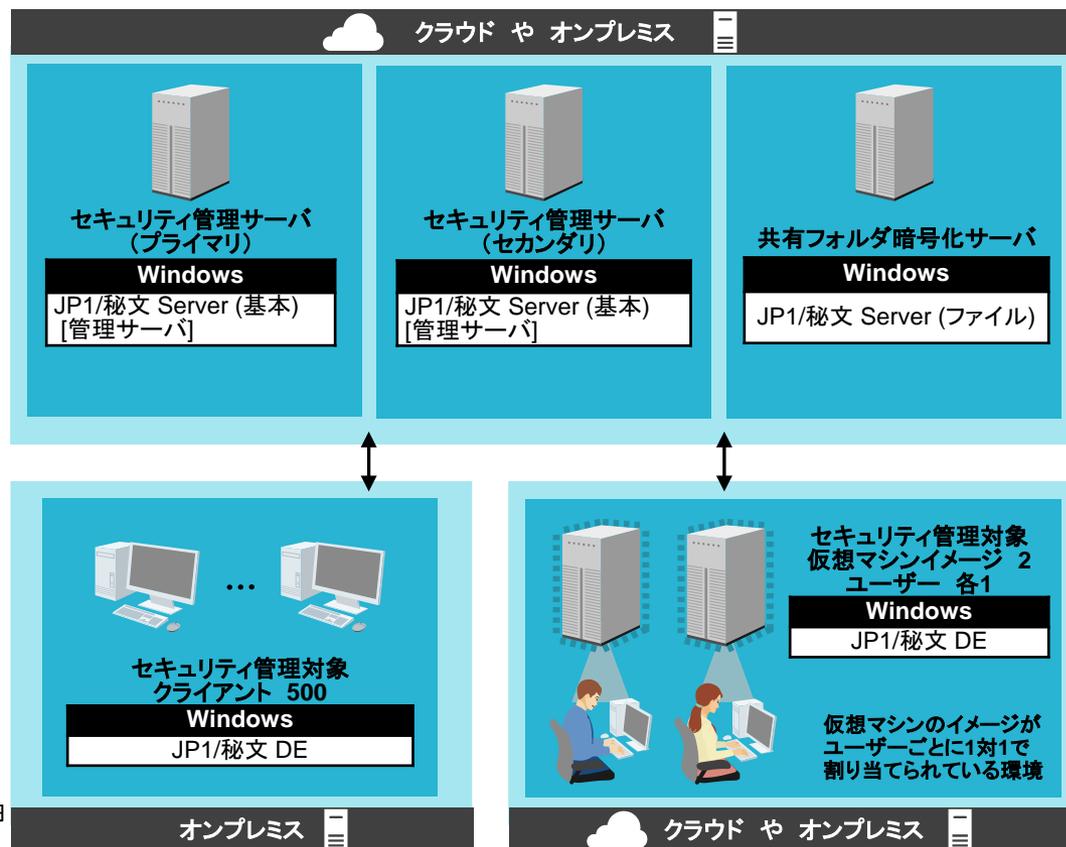
<買い取りタイプ>

プログラム・ライセンス:5,722,000円、サポートサービス(年額):1,201,560円

<サブスクリプションタイプ>

プログラム:1,000円、ライセンス・サポートサービス(年額):3,554,160円

## ●システム構成図



### 参考: クライアントだけの構成も可能

共有フォルダ暗号化サーバを使用しない場合は、セキュリティ管理サーバのないスタンドアロン構成も可能です。

JP1/秘文 Server (基本) : JP1/秘文 Server 基本ライセンス  
JP1/秘文 Server (ファイル) : JP1/秘文 Server ファイルサーバライセンス  
JP1/秘文 DC : JP1/秘文 Device Control  
JP1/秘文 DC Webアクセス・コピーログオプション : JP1/秘文 Device Control Webアクセス・コピーログオプション  
JP1/秘文 DE : JP1/秘文 Data Encryption

- Windows は、マイクロソフト 企業グループの商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

---

## JP1 Version 13 システム構成例

### セキュリティ管理・情報漏えい防止